



DOG PULLER

ルール BOOK

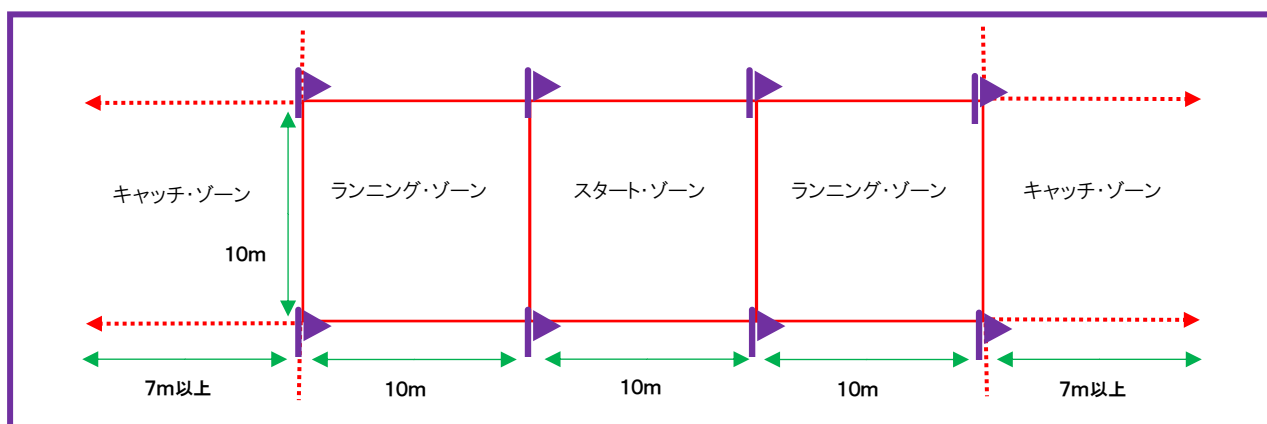
【DOG-PULLERとは。】

『DOG PULLER』は 2012 年にウクライナで初めて開催された新しいドッグスポーツです。
誰でも簡単にでき、シンプルだけに奥が深い、そんな『DOG PULLER』はどなたでも参加できます。

ランニング競技とジャンプ競技の 2 種目があり、それぞれ 90 秒の制限時間の中で
チャレンジできたレトリーブの回数とジャンプ回数で得点を競う競技です。

《DOG-PULLER の競技概要》

【DOG-PULLER の競技フィールド】



- ◎DOG-PULLER は、上記の図のようにスタート・ゾーン、ランニング・ゾーン、キャッチ・ゾーンの3つのゾーン、5つのエリアから成るフィールドで行います。
(スタート・ゾーンとランニング・ゾーンは、「縦10m×横10m」のフィールドになっています。)
(キャッチ・ゾーンは、「幅は10m、直線7m以上」のフィールドになっています。)

【競技へのエントリーについて】

- ◎『DOG-PULLER』は、年齢と体高の高さによってカテゴリーが分けられ競技が行われます。
基本となるカテゴリーは、『パピー』『ミニ』『マキシ』3つです。

- 『パピー』⇒(年齢が生後12か月まで) ※体高・犬種は問わない。
- 『ミニ』⇒(年齢12か月以上、体高45cmまで)
- 『マキシ』⇒(年齢12か月以上、体高45.1cm以上)

- ◎競技にエントリーする際、各競技種目において同カテゴリーのエントリーは最大2頭まで。

- ◎DOG-PULLER 又 DOG-PULLER MICRO、カテゴリーによって使用できる PULLER の種類が決まります。

- DOG-PULLER MICRO** ⇒ 「PULLER MICRO」のみ。
- DOG-PULLER** ⇒ カテゴリーによって、使用できる PULLER が決まる。

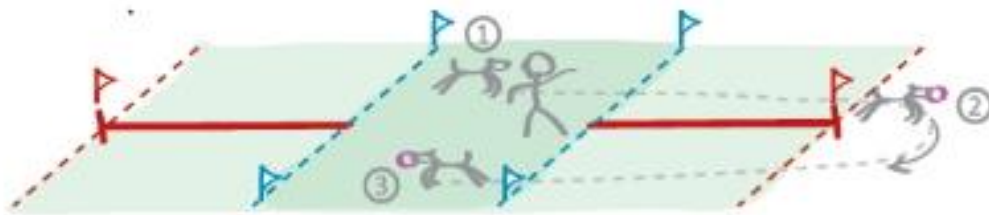
- 「パピー」カテゴリー ⇒ ALL OK (※ただし、同じ大きさの PULLER2つを使用すること)
- 「ミニ」カテゴリー ⇒ ALL OK (※ただし、同じ大きさの PULLER2つを使用すること)
- 「マキシ」カテゴリー ⇒ スタндарт・ミディ・マキシ(※ただし、同じ大きさの PULLER2つを使用すること)

- ◎『注意事項』

- 狂犬病予防接種済みであること。狂犬病予防接種済表の提示が必須です。
- 混合ワクチン接種済みであること。接種済み証明書の提示が必須です。
(※予防接種の証明は、最終接種後一年以内であること)
- ヒートの場合は、エントリー時に申告しなければならない。
(※出血が見られなくなってから、4週間はヒート期間として申告すること。)
- 犬の体調が良好でない。また、ケガをしている場合は、競技に参加できない。
主審がそれを判断した場合には、出場を棄権させる場合があります。

DOG PULLER

『PULLER Running』(プラー・ランニング)



■ランニング競技の概要■

- 競技時間は『90秒』で行われる。
- 競技フィールドは、全面を使用し行われる。
(※スタート・ゾーン、ランニング・ゾーン、キャッチ・ゾーンのすべて。)
- 競技は、スタート・ゾーンから両方向に交互にレトリブをくり返すことでゲームが進行する。
- 競技の採点は、制限時間内で正しくレトリブした回数合計の合計ポイントで競います。
- 競技には、プラーを2つ(1組)を使い、競技を行う。

■ランニング競技のルール■

- リードは、スタート・ゾーンに入場する前に、外で外してから入場する。
- 競技には、プラーを2つ(1組)を持って入場すること。(※PULLER 以外は持ち込むことができない)
- 競技開始は、競技者の『ダブルヒット(2回叩くジェスチャー)』の合図で開始される。
- ランニング競技中は、スタート・ゾーンを中央にして、左右交互にプラーを投げること。
- ランニング競技中は、2つ(1組)あるプラーを交互に投げること。
- PULLER を投げる際、ランニング・ゾーンを飛び越えても、転がしても良いものとする。
- ランニング・ゾーンとレトリブ・ゾーンの境目にある2つの旗の間を通り、10mを越えないと得点の対象にならない。

■得点の採点方法■

【得点を「1点」獲得する条件】

- 転がっているプラーを10m先のキャッチ・ゾーンでキャッチし、スタート・ゾーンまで落とさずに持ち帰った場合、「1点」獲得となる。

【得点が「0点」となるケース】

- 地面に止まったプラーを啜ってきた場合。
- レトリブの途中で落とした場合。
- 投げたプラーが10mを超える前、ランニング・ゾーンでキャッチされた場合。
- 競技者がプラーを投げる時、スタート・ゾーンのラインを踏む。もしくは、踏み越えた場合。

■ペナルティ■

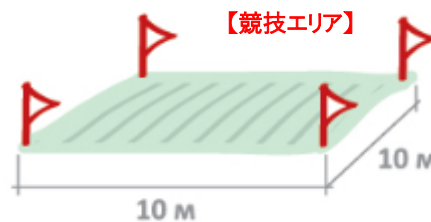
- プラーを左右交互に投げなかった場合、ペナルティとなる。
- 2つのプラーを交互に投げなかった場合、ペナルティとなる。
- 競技中に排泄した場合、ペナルティ or 競技終了となる。(排便・排尿)

■失格■

- 競技者にスポーツマンシップに反する行為があった場合。
- 人や他の犬に対して、犬が攻撃行為を行った場合。

DOG PULLER

『PULLER Jump』（プラー・ジャンプ）



■ジャンプ競技の概要■

- 競技時間は、『90秒』で行われる。
- 競技フィールドは、『10m×10mのエリア』を1つ使用し行われる。
(※競技するフィールドをスタート・ゾーン又はランニング・ゾーンから競技者が選択できる。)
- 競技の採点は、制限時間内で正しくジャンプ&キャッチした回数の合計ポイントで競います。
- 競技には、プラーを2つ(1組)を使い、競技を行う。

■ジャンプ競技のルール■

- 競技者は、ジャンプ競技を行うフィールドをスタート・ゾーン、又はランニング・ゾーンから選択し、入場する。
- リードは、選択した競技エリアに入場する前に、外で外してから入場する。
- 競技には、プラーを2つ(1組)を持って入場すること。(※PULLER以外は持ち込むことができない)
- 競技の開始は、競技者の『ダブルヒット(2回叩くジェスチャー)』の合図で開始される。
- ジャンプ競技は、2つ(1組)のプラーを両手に持ち、左右交互にキャッチすること。
- ジャンプ競技は、『前足2本又は4本すべての足』をジャンプして、キャッチすること。
- ジャンプ競技中、犬がジャンプしキャッチする瞬間、人はプラーをしっかりと持たないといけない。
しかし、犬がキャッチしたことを確認後はプラーを放して、次のプラーをキャッチさせることは良い。

■得点の採点方法■

【得点を獲得する条件】

- 前足2本が地面から離れた状態でキャッチした場合。「1点」獲得となる。
- 4つ足すべてがジャンプし、地面から離れた状態でキャッチした場合。「2点」獲得となる。



【得点が「0点」となるケース】

- ジャンプした時、プラーをキャッチできなかった場合。
- プラーをキャッチした時、ジャンプしていなかった場合。また、前足が2本地面から離れていない場合。
- 競技者が競技中に、競技を行っているゾーンの線を踏む。また、ゾーンの線を足が越えた場合。



■ペナルティ■

- 犬を跳ばせるために、故意に犬の前に足を出す行為は禁止。(ペナルティ対象)
- 犬を垂直にジャンプさせる行為は、犬の体に大きな危険を伴う為、禁止。(ペナルティ対象)
- 競技中に排泄した場合、ペナルティ or 競技終了となる。(排便・排尿)

《ビギナークラス》 (※日本ローカルルール)

【競技へのエントリーについて】

- ビギナークラスは、特別ルールとして『無階級制ルール』となっています。
犬種、年齢に関わらず、すべての犬達が一緒になってチャレンジできるクラスです。

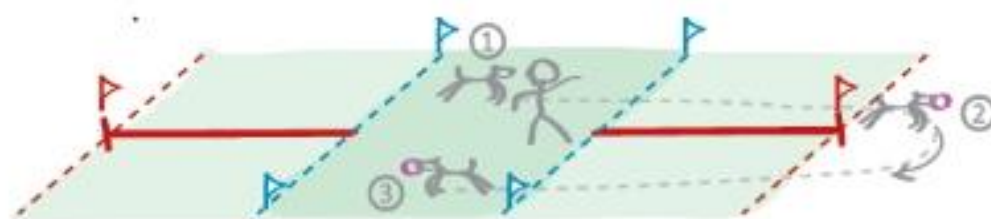
【競技ルールについて】

- ビギナークラスにおいては、以下のルールにて行われる。
- その他、フィールド、競技時間、競技進行における基本ルールは DOG-PULLER の国際基準に準じて行われる。

【ランニング競技のルールにおいて】

《得点ルール》

- 転がっているプレーをキャッチし、スタート・ゾーンまでレトリーブした場合は、『2P』獲得する。
- しかし、途中で落とした、地面につけた場合、または、1度止まったプレーをスタート・ゾーンまでレトリーブした場合は、『1P』とする。



【ジャンプ競技において】

《得点ルール》

- 4つ足がすべて、地面からジャンプして、プレーを啜ることができた場合は、『3P』獲得する。
- 前足2つが、地面からジャンプして、プレーを啜ることができた場合は、『2P』獲得する。
- 足がジャンプしていなくても、人が持ったプレーを左右交互にキャッチができた場合は、『1P』獲得。
(※しかし、人が犬の口に押し込むようにプレーを差し出すことはNG。カウントされない。)
- プレーをキャッチできなかった場合のジャンプは、得点にならない。



3points



2points



1points

【得点が「0点」となるケース】

- プレーをキャッチできなかった場合。また、左右交互にキャッチをしていない場合。
- 競技者が競技中に、競技を行っているゾーンの線を踏む。また、ゾーンの線を足が越えた場合。





日本ドッグプラー協会(仮)

作成:2018.9.25

文責:吉田圭佑